

1/5 雜

今年は日本国憲法が1947年

主張

憲法施行75年

岸田改憲許  
更に議論が深まることを心から期  
待」などと前のめりです。  
昨年の総選舉後、自由党は首相  
の指示で「憲法改正推進本部」を  
「表現本部」に改組しました。自  
民、公明、日本維新の会の改憲勢  
力が衆院の3分の2以上の議席を  
得たことを受け、改憲の表現に拍  
来の党是である、憲法改正も、本年  
の大きなテーマ」と強調し、「国会  
での論戦を深めるとともに、国際  
的な議論を巻き起す」と主張しま  
した。首相は昨年12月に行なった二  
連の講演でも「憲法改正」に触れ、  
「積極的にこの課題にも取り組ん  
でいきたい」「次期通常国会では、

## 岸田改憲許さない決意新たに

憲法施行の節目の年を、近田治彦  
を許さず、憲法を守ら生かす奮闘  
をしていくことが重要です。

首相の前のめり発言

鹿田真相は昨年秋の日比谷總裁選の時から、任期中の改憲を実現したいと公言しています。新年の年頭所感でも「衆議院在院絶続以来

更に議論が深まるこゝを心かゝる期  
待」などと前のめりです。

昨年の総選挙後、自由党は首相  
の指示で「憲法改正推進本部」を  
「表現本部」に改組しました。自  
民、公明、日本維新の会の改憲勢  
力が衆院の3分の2以上の議席を  
得たことを受け、改憲の表現に拍

設は「日本を『戦争する国』に引き戻す危険なたぐいです。首相が回摺す「敵基地攻撃能力の保有」や大軍拡と一体となって、東アジアの軍事的緊張を高め、戦争を招きかねない重大な動きです。75年前の憲法施行に当たり、当時の文部省は中学生一年生の教材としを、ほかの國よりも先にいたたいておられたのであります。世の中は、田川義晴によると、強いものはないおせど」と語っています。紛争を平和的に解決するには、めでたやの衆の先駆性は、さぞかしあるにふれはなりません。しかし、中学生がおなじみの田川義晴による「敵基地攻撃能力の保有」を認めさせ、東アジアの平和に

は少數です。岸田改憲に大義はありません。7月の参院選で改憲勢力を分數に通じ込めたたかいが無務です。「の条改憲NO-1 全国市町アクション」の全国運動を広めに広げ、平和な日本をついために草の根から力を合わせやめやめではありませんか。

来の党是である、憲法改正も、本年  
の大きなトーマー」と強調、「国際  
との論戦を深めるとともに、内閣は  
的議論を重視」すると主張して  
した。首相は昨年12月に開いた「  
連の講演でも「憲法改正」に触れ、  
「積極的な」の課題をも取り組ん  
でいる」と「次期選舉国で、本年

車をかける狙いです。実現本部初  
会合（12月21日）では、岸田首相  
の他、安倍晋三元首相や麻生太郎  
副総裁らが出席し、改憲の機運が  
ぐるく全国遊説や対話集会など國  
民運動の強化を決めました。  
首相が主導す、自衛隊明記や人  
権を制限する「緊急事態条項」創  
設を丁寧に説明してこます。

草の根から署名を広げて  
安倍元首相が2017年の憲法  
記念日に出した「20年中の改  
憲」の企ては行き詰りました。  
国民多数が改憲を望まず「戦争す  
る国づくり」への反対の声が広が  
り、それで不可欠です。